

平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
大和郡山市	大和郡山市立片桐西小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

子どもたちの成長には、学校・家庭だけでなく、子どもたちの成長を願い見守る地域の方々の温かさやおおらかさが欠かせません。自分のことを気にかけてくださる家族以外の大人、地域のみなさんの存在をふれあいを通して実感することで、子どもたちのコミュニケーション能力や自尊心が向上すると考えます。

2 取組の概要

1. 地域のみなさんに見守られて

見守り隊の皆さんは、いろいろな場所で子どもたちの安全を見守ってくださっています。その誰もが子どもたちのことをよく知ってくださっています。ある人は、

「あの子がまだきていないのでどうしたのかな。もう遅れてしまうな。」

と、一人一人の子どもたちのことを本当によく把握していただいています。また、ある方は、子どもたちの名前を覚えようと、メモをとりながら、

「〇〇さん、おはよう。」と、声をかけてくださっています。

「水筒もってないんか？」

など身の回りのことまで気にかけてくださり、小さいときからずっと成長していく子どもたちの様子を見てくださっています。

見守り隊の皆さんは一人一人の子どもたちのことを大変よく知ってくださっています。子どもたちが見守り隊の方とすれ違う、ほんのわずかな数秒の間に交わされる会話を通して、どうして子どもたちの様子が分かるのでしょうか？ きっとそれは、わずかな会話が積み重なって子どもたちの気持ちを理解していただいたのでしよう。

そして、見守り隊のみなさんが毎日活動を続けてくださっている原動力は一体何から来るものでしょうか。それは、

「子どもたちの笑顔に元気をもらっています。」と、言ってくださるように、子どもたちのあいさつであったり、笑顔であったりの数秒で子どもたちと気持ちを通わせてくださっているからだと思います。おそらくこの関係は、どこの学校の見守り隊の方々すべてに当てはまることではないのでしょうか。

子どもたちにとって、自分のことを気にかけてくださる家族以外の大人、地域のみなさんの存在は大変ありがたい存在です。



2. ゲストティーチャーと共に

1年生では地域の方とチューリップの球根を植えました。春になると新1年生が入学してくるから、きれいな花でむかえましょう。それまで大切に育てましょう。今、中庭ではチューリップが芽を出しています。



3年生では、「昔の暮らし」の学習に取り組んでいます。マッチのすり方や七輪に火をおこす体験をさせてもらいました。経験したことがないので最初はうまくいきませんでした。でも、地域の方が何度も挑戦させてくださったので、少しずつ自信が持てました。



5年生では、米作りの体験をさせてもらいました。田植えは最初の一步が大変でしたが、なれると次第に手際よくなってきました。今では手で植えることがないようです。雨が降ったりして予定が変更になりましたが、自然との関わりが大切だと実感できました。

収穫の稲刈りでは、地域の幼稚園・保育園との交流も兼ねています。園児をいたわりながら鎌を使って稲刈りをしました。鎌の使い方も教えていただきましたが、ケガをしないか心配しながら稲を刈りました。刈った稲を園児に渡して一緒にコンバインまで運びました。



収穫祭では感謝の気持ちを伝えました。

今年のPTAバザーでは、高学年から希望者を募りお店の中に入ってお手伝いをしてもらいました。子どもたちの参加動機には、「仲良くなりたかった・役に立てたら・助けたかった。」など、自分の力を発揮することでバザーに貢献したいとの強い気持ちが感じられました。

バザーを終えての感想では、「お店の方が優しく接してくれた。お店側でできたことがすごくうれしかった。」「大きな声でお客さんを呼んでいると、どこのお店もすごくがんばっているのだなと思いました。また、やりたいし、いろいろとこっちに来てお手伝いやってといわれてうれしかった。」「大人の人と仲良くなれたし、あまりできない経験ができたからうれしかった。大人の人の役に立ててうれしかった。」と書いていました。

